

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 成人看護学分野

科目コード：240019

腫瘍薬物学特論

担当教員	牧野 智恵				
実務経験					
開講年次	1年次通年	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	15		
Keywords	化学療法、分子標的治療、作用機序				
学習目的・目標	化学療法について総論としてその歴史、作用、がん治療における位置づけ、各種理論、耐性機構、バイオマーカーなどを学ぶ。また、化学療法における臨床薬理学の重要性について理解を深める。抗がん剤の薬理作用機序について学ぶ。さらに、抗がん剤の臨床効果を理解する。分子標的薬剤の作用機構、効果、有害事象などを学ぶ。 (本科目は、e-learningとキャンサーボードの講義、演習によって単位を修得することが可能)				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	化学療法総論 1			e-learning	矢野聖二
2	化学療法総論2				矢野聖二
3	がん化学療法の薬理学①				西尾真友
4	がん化学療法の薬理学②				西尾真友
5	分子標的治療（1）				山田忠明
6	分子標的モノクローナル抗体治療薬の作用機序と臨床成績				渡邊弘之
7	外来化学療法中の患者に関するキャンサーボードへの出席			講義	
8	薬物治療における看護の課題			演習	牧野智恵
教科書	指定しない				
参考図書等					
評価指標	1.1～6回までの内容については、がんプロ.com (http://www.gan-pro.com) の評価基準に準じたe-learningの成績とキャンサーボード症例検討会出席状況から成績判定する。各回毎に講義を聴講の後、確認テストを受験し、合格した上で、キャンサーボードの講義を受けることができる。 2.「外科的治療におけるがん看護」に関するレポートの内容。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	北陸がんプロ開講科目のeラーニングによる授業であるため、視聴に必要な手続きをとること。				